

2019年度実験動物関係教職員高度技術研修 【中型動物を用いた動物実験に関わる知識と技術の習得】実施要領

1. 目的

ライフサイエンスの発展とともに研究機関等における動物実験の重要性はますます高まりを見せ、動物実験の内容も高度化、先端化が進んできている。大学等の実験動物関係者に対し実験動物や動物実験に関する高度知識と技術を習得させ、自己開発能力を高めるとともに実験動物福祉への取り組み能力の向上を図ることは極めて重要な課題であり、教育・研究の発展に資するものである。

近年、材料工学、組織幹細胞及びiPS細胞技術、ゲノム編集、並びに異種移植技術といったバイオイノベーションに対し、ブタを初めとした中型動物を用いた動物実験が再評価されつつある。一方で、中型動物を用いた動物実験経験者は減少しており、研究支援や実験動物福祉を担う技術職員の育成が必要となっている。

そこで、本研修では、中型動物を用いた動物実験への研究支援の強化を担う技術職員の育成を目的とし、主としてブタの飼養保管、感染症対策、取扱手技、鎮静・麻酔技術、周術期管理、術後ケアに関する基礎的知識を習得する。

2. 主催

岡山大学自然生命科学研究支援センター
熊本大学生命資源研究・支援センター

3. 企画

国立大学法人動物実験施設協議会

4. 研修会場、期間、日程

(1) 会場：岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門鹿田施設
〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1

(2) 期間：2019年11月19日（火）～2019年11月22日（金）

(3) 日程：別紙のとおり

5. 研修対象者

国立大学法人及び大学共同利用機関法人のうち、技術職員及び非常勤職員を対象とする。

6. 募集人数

10名程度

7. 申し込み、決定

(1) 申し込み

各機関及び各施設の長は、研修希望者を別紙様式（1，2）により、2019年9月27日（金曜日）（必着）までに、熊本大学生命資源研究・支援センター長に推薦する。なお、希望者複数の場合は優先順位を付すこと。

※「別紙様式1，2」は、国立大学法人動物実験施設協議会ホームページ <http://www.kokudoukyou.org/> 「高度技術研修会」よりダウンロードができます。

(2) 決定

熊本大学生命資源研究・支援センター長は、前項により推薦された者の中から研修生を決定し、各機関及び各会員施設の長に通知する。

8. 研修課題及び内容

(1) 研修課題

中型動物を用いた動物実験に関わる知識と技術の習得

(2) 研修内容

ミニブタ及びブタを用いた動物実験に関わる基本的な知識、倫理的概念を身につけるための講義と、研究支援に必要とされる取り扱い技術や麻酔及び外科的手技習得のための実習を行う。さらにブタの取り扱いに関わる基本的知識・操作およびブタの外科処置に関わる講義、実習を行い、ブタを用いた動物実験への技術職員としての研究支援について意見交換を行う。

9. 経 費

研修料は無料とし、研修旅費は熊本大学生命資源研究・支援センターにおいて負担する。

10. 修了証書

この研修の所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。